



# 学校だより

令和5年2月28日  
横浜市立仏向小学校

3月号

## マスクの向こうの顔

校長 大嶋 智子

三寒四温で、校庭の桜のつぼみが膨らみ始め、春が確実に近づいていることを感じます。子どもたちは、寒い日も校庭に出て、長縄跳びを頑張っています。保健体育委員会企画の長縄集会を励みに、担任も一緒になって、「はいっ、はいっ、はいっ」と声をかけ合い、回数にチャレンジしています。引っかかって止まっても、互いをとがめることなく、優しいムードで縄を回し続ける様子を見て、気持ちも温かくなります。



さて、新型コロナウイルス感染症が学校現場を休校に追い込んでちょうど3年になります。3年前の今頃は・・・と、当時の混乱を思い起こします。その新型コロナは「新型」の名称を変更し、5月には季節性インフルエンザと同類の感染症の扱いとなることが報道されています。

この春の卒業式でのマスク着脱について、文部科学省通知を受け、横浜市でも「児童生徒および教職員のマスク着用は求めない」ことになりました。大きな声を出す合唱や呼びかけ以外は、マスクを外してもよいことになりました。

3年間マスク生活をしてきた子どもたちも大人も、「では、今日から・・・」とすぐにチェンジできることではありません。もはや、下着と同じくらい人前で外すのが恥ずかしいような感覚になる人も少なくないでしょう。10月の運動会では、子どもたちはマスクを外して演技や競走を行いました。後日その録画を観た私は、子どもたちの笑顔にどことなく、ぎこちなさを感じました。マスク生活で、満面の笑顔を表出する機会が少なかったからかもしれません。安心して表出できる環境づくりが課題です。

今後、マスク着脱を選択していく過程には、周囲の理解も必要です。感染者数が少なくなっても、不安と対策は人それぞれです。花粉症など身体的事情を抱える方をはじめ、口元を見せることに抵抗を持っている人がいても、なんの不思議もありません。仏向小学校では多様性を大切にしています。マスク着脱を見直していく今こそ、心ない言動で傷つくことがないよう、だれもが安心して過ごせる学校にしていかなければなりません。ご家庭や地域活動でも話題にさせていただき、ご理解ご協力をお願いいたします。

### 【第2回学校運営協議会報告 および 第2回学校説明会ご案内】

2月20日(月)、学校運営協議会員の皆様にご来校いただき、本年度の教育活動の取組や成果、アンケート結果、子どもたちの様子等を報告し、学校関係者評価をしていただきました。今年度は特に、地域連携やICT利活用について高評価をいただきました。次年度行事予定も提案しました。

また、同様の報告は、「第2回学校説明会」として、保護者の皆様に YouTube 配信いたします。教職員挨拶の動画も掲載しています。2月27日配付のQRコードからご視聴ください。